

# 2026年度

---

## 学生募集要項

### ■ 看護学研究科

博士前期課程／博士後期課程

### ■ リハビリテーション科学研究科

博士前期課程／博士後期課程

### ■ 社会福祉学研究科

博士前期課程／博士後期課程



聖隷クリストファー大学大学院

## 聖隷クリストファー大学大学院の目的

聖隷クリストファー大学大学院(以下「本大学院」という)は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づき、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の、高度かつ専門的な理論および応用を教授研究し、深奥な学識と研究能力を養い、保健医療福祉に関わる専門教育の向上・発展に寄与するとともに人々の健康・安寧と福祉に貢献することを目的とする。

## 博士前期課程の目的

本大学院博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の分野における研究能力、または高度の専門性を要する看護、リハビリテーション、福祉の実務ならびに教育に携わる者等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

## 博士後期課程の目的

本大学院博士後期課程は、幅広い視野で人間と社会を捉え、看護、リハビリテーション、社会福祉の各専門分野およびそれらの連携・協働について深く追求し、自立して研究活動を行い得る優れた専門性と人間性を備えた、広く世界に通用する高度専門職業人を育成することを目的とする。

# 大学院 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

## 看護学研究科

### 博士前期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人
2. 看護学領域の実践に必要な基本的倫理、知識、技能を備えより良い実践のため探求する意欲を持っている人
3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、自分の意見を述べるができる人
4. 看護の実践の中で生じた課題を解決するために、他者の意見を聞くことができる人
5. 自律的に活動し、主体性を持って課題解決に向け学修できる人

### 博士後期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人
2. 看護学領域の専門職の実践に必要な知識・能力を備え、看護学を探求する意欲を持っている人
3. 看護学領域の臨床実践や教育実践における課題について、研究的視点を持ち自立して研究に取り組む意欲のある人
4. 看護領域の課題解決に向けて、他の専門職や研究者と協働することができる人
5. 学術的かつ国際的に視野を広げることに関心を持ち、看護学の発展に貢献する意欲のある人

## リハビリテーション科学研究科

### 博士前期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人
2. リハビリテーション科学領域の実践や研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究心を持っている人
3. リハビリテーション科学領域の臨床実践や教育実践における課題に気づき、口頭及び文書で論理的に表現することができる人
4. それぞれの実践の中で生じた課題の解決に意欲を持っている人
5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぼうとする意欲を持っている人

### 博士後期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする倫理観を理解する意欲を持っている人
2. リハビリテーション科学領域の研究に必要な基本的倫理、知識、技能を備え、研究を行った経験を有している人
3. リハビリテーション科学領域の研究課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に表現することができる人
4. それぞれの実践や研究の中で生じた独創的課題の解決に意欲を持っている人
5. 自律的に活動し、主体性を持って多様な人々と協働して学び、将来共に活動する志向を持っている人

## 社会福祉学研究科

### 博士前期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人
2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、社会福祉の思想、知識、技能を備え、研究心を持っている人
3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、社会的に問題を口頭及び文書で論理的に説明できる人
4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決、科学的な分析、研究に意欲を持っている人
5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、専門職連携、多職種連携、協働の視点を持っている人

### 博士後期課程

1. 「生命の尊厳と隣人愛」の精神を基盤とする高い倫理観を持って実践・教育・研究を志す人
2. 社会福祉専門職の実践に必要な基本的倫理、社会福祉の思想、知識、技能を備え、研究を行った経験のある人
3. 社会福祉の高度専門職者として、臨床や教育実践における課題に気づき、その意味を判断し、口頭及び文書で論理的に説明し、社会的に問題の改善ができる人
4. 社会福祉実践の中で生じた課題の解決に意欲と科学的な分析力、研究方法を持っている人
5. 社会福祉実践の現場から学び、自立的に活動し、主体性を持って専門職連携、多職種連携を図り、協働のネットワークを構築する人

### ◆入試日程

選抜種別	一般選抜・社会人選抜	
	1期	2期
出願期間	2025年8月18日(月)～9月1日(月) 【消印有効】	2025年12月15日(月) ～2026年1月5日(月)【消印有効】
選抜期日	2025年9月27日(土)	2026年1月31日(土)
合格発表	2025年10月3日(金)	2026年2月6日(金)
入学手続期間	2025年10月6日(月)～10月23日(木)	2026年2月9日(月)～2月26日(木)

※ 外国人留学生選抜は「2026年度学生募集要項(外国人留学生選抜)」をご確認ください。

### 「禁煙宣言」入学者は、入学後タバコを吸わないことを約束できる方とします。

2003年5月に健康増進法が施行され、大学など多数の者が利用する施設では「受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と定められました。本学ではこれを受けて、人々の命と健康をあずかる保健医療福祉及び教育・保育の専門職者を育成する大学として、2007年4月に「禁煙宣言」をし、教職員・学生のキャンパス内及び大学周辺区域での全面禁煙を達成するための教育、支援活動、啓発活動等を行ってきました。これらの活動が一定の成果を上げた今、新たな禁煙宣言をして禁煙の徹底、喫煙習慣ゼロ運動に取り組めます。

2011年5月10日

聖隷クリストファー大学 学長

- ・学生は本学に入学するにあたり喫煙しないことを誓約し、その誓約を守れなかった場合は退学を含む処分の対象となることを了解しています。
- ・学生は入学時の誓約を守って学生生活を送り、卒業後も喫煙習慣のない保健医療福祉及び教育・保育の専門職者として活躍します。
- ・大学は教職員・学生全員から喫煙習慣をなくすための啓発及び支援活動を継続します。

## 目次

看護学研究科	リハビリテーション科学研究科	社会福祉学研究科
博士前期課程	博士前期課程	博士前期課程
1. 募集人員・募集専門分野..... 5	1. 募集人員・募集専門分野.....20	1. 募集人員・募集専門分野 ..... 32
2. 出願資格..... 5	2. 出願資格.....20	2. 出願資格 ..... 32
3. 出願手続き・出願方法..... 5	3. 出願手続き・出願方法 .....20	3. 出願手続き・出願方法..... 32
4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等..... 6	4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等 .....21	4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等..... 33
5. 合格発表..... 7	5. 合格発表.....22	5. 合格発表 ..... 34
6. 入学手続き..... 7	6. 入学手続き .....22	6. 入学手続き..... 34
7. 授業料等の納入..... 7	7. 授業料の納入.....22	7. 授業料の納入 ..... 34
8. 教育・研究指導内容..... 8	8. 教育・研究指導内容 .....23	8. 教育・研究指導内容 ..... 35
9. 教育課程.....10	9. 教育課程.....25	9. 教育課程 ..... 36
博士後期課程	博士後期課程	博士後期課程
1. 募集人員・募集専門分野.....14	1. 募集人員・募集専門分野.....26	1. 募集人員・募集専門分野 ..... 37
2. 出願資格.....14	2. 出願資格.....26	2. 出願資格 ..... 37
3. 出願手続き・出願方法.....14	3. 出願手続き・出願方法 .....26	3. 出願手続き・出願方法..... 37
4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等.....15	4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等 .....27	4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等..... 38
5. 合格発表.....16	5. 合格発表.....28	5. 合格発表 ..... 39
6. 入学手続き.....16	6. 入学手続き .....28	6. 入学手続き..... 39
7. 授業料の納入.....16	7. 授業料の納入.....28	7. 授業料の納入 ..... 39
8. 教育・研究指導内容.....17	8. 教育・研究指導内容 .....29	8. 教育・研究指導内容 ..... 40
9. 教育課程.....18	9. 教育課程.....30	9. 教育課程 ..... 40
<hr/>		
共通		
博士前期課程出願資格(9)の認定について..... 42	入学者選抜試験に係わる成績の開示について..... 42	
大学院設置基準第14条の実施について..... 42	学費一覧..... 43	
長期在学コースについて..... 42		

出願書類は、インターネット出願サイトまたは本学ホームページからダウンロードすることができます。

※インターネット環境のない方は入試・広報センターにご相談ください。

### 個人情報の取り扱いについて

本学では個人情報に関して適用される法令、規範を遵守し、皆様の個人情報の適切な管理・利用と保護に努めています。出願書類に記入された個人情報は、入学者選抜の実施、合格発表および入学手続き書類の送付にのみ利用します。

# 看護学研究科

---

## 博士前期課程

一般選抜(1期・2期)

社会人選抜(1期・2期)

## 博士後期課程

一般選抜(1期・2期)

# ■看護学研究科 博士前期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
10名	修士(看護学)	2年 (長期在学コースは3年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)、社会人選抜(1期・2期)、学内推薦選抜(1期・2期)、外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する専門分野・領域

専門分野	領域			
看護学	基礎看護学 老年看護学* がん看護学* 小児看護学*	看護管理学 精神看護学 ウイメンズヘルス看護学 プライマリケア看護学*	地域看護学** 慢性看護学* 助産学	在宅看護学* 急性看護学

\* 領域は高度実践看護師教育課程「高度実践看護コース」を設けています。

\*\* 領域は養護教諭専修免許取得課程を設けています。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または入学時までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院が、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達したもの

※ 出願資格(9)により出願しようとする場合は、42ページの「博士前期課程出願資格(9)の認定について」を参照してください。なお、大学院科目等履修生等で過去に本大学院入学資格に該当する者と認定された方は「出願資格審査の結果通知の写し」の提出をもって審査を省略します。

※ 看護学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①および②に該当する者

- ① 上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者
- ② 入学時点で5年以上の実務経験を有する者

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- |          |    |                                   |
|----------|----|-----------------------------------|
| (1) 出願期間 | 1期 | 2025年8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]       |
|          | 2期 | 2025年12月15日(月)～2026年1月5日(月)[消印有効] |

(2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先/ 〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

(3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘 要
入学志願票	本学所定の様式(インターネット出願サイトより出力、片面印刷) 顔写真データを用意してください。(カラー/背景なし/正面・上半身・無帽/出願前3ヶ月以内に撮影したもの)
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
志望理由書 <b>様式①</b>	本学所定の様式を使用し、①領域の選択理由、②研究課題としての関心事、③研究課題に関心をもつ理由について書いてください。パソコン作成可ですが、氏名欄は必ずボールペンで自署してください。
成績証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。なお、大学以外の教育機関で専門教育(看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉)を受けた者は、当該校の成績証明書も提出してください。
卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。
職務経歴書 <b>様式②</b>	社会人選抜による出願者のみ、職務の主な内容について記入してください。また、職務の記録や証明書等があれば添付してください。

(4) 出願上の注意

- ①出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。  
※各領域の担当教員の連絡先は8・9ページ「8.教育・研究指導内容」を参照してください。
- ②証明書の氏名が出願時と異なる場合(旧姓等)は、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。
- ③出願書類が不備なものは受け付けません。
- ④いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。
- ⑤出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

- (1) 選抜期日      1期      2025年9月27日(土)
- 2期      2026年1月31日(土)

(2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目	
一般選抜	社会人選抜
① 英 語 保健医療関連の英文の読解 (辞書[電子辞書含む]持ち込み可)	① 専門科目 志望する領域に関する試験
② 専門科目 志望する領域に関する試験	② 小 論 文
③ 小 論 文	③ 面 接
④ 面 接	

### (3) 試験時間

試験時間	一般選抜	社会人選抜
9:30 ~ 10:30	英 語	
11:00 ~ 12:00	専門科目	専門科目
13:10 ~ 14:10	小 論 文	小 論 文
14:30 ~	面 接	面 接

### (4) 試験場

聖隷クリストファー大学(静岡県浜松市中央区三方原町3453)

## 5. 合格発表

- (1) 合格発表日 1期 2025年10月3日(金)  
2期 2026年2月6日(金)

### (2) 発表方法

- ①インターネット出願サイトにて行います。合否照会期間は合格発表から3日間です。  
②合格者にのみ、合格通知書および入学手続書類を郵送します(発表日に投函、速達郵便)。

## 6. 入学手続き

- (1) 手続期間 1期 2025年10月6日(月)~10月23日(木)  
2期 2026年2月9日(月)~2月26日(木)

### (2) 手続方法

手続期間内に入学金を納入し、誓約書を提出してください。

納入金および必要書類	
入学金 300,000円	誓約書(本学所定の様式)

※ 聖隷クリストファー大学(聖隷学園浜松衛生短期大学、聖隷介護福祉専門学校、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校含む)卒業者の入学金は150,000円です。

※ 手続期間内に入学手続きを完了しない場合、入学辞退者として取り扱うことになります。

## 7. 授業料等の納入

2026年度春 semester 授業料等の納入期限は、2026年3月17日(火)17時です。

合格発表時に送付する納入書綴を使って期限までに納入してください。

〈修士論文コースおよび高度実践看護コース専門看護師プログラム〉

	修業年限2年	修業年限3年(長期在学コース)
春 semester 授業料	524,000円	394,000円

〈高度実践看護コースプライマリケアNPプログラム〉

	修業年限2年	修業年限3年(長期在学コース)
春 semester 授業料	524,000円	394,000円
プライマリケアNPプログラム 履修料(春 semester)	125,000円	93,500円

※ 施設設備費は授業料に含まれています。

※ 授業料等を納入した方で入学を辞退する場合は、2026年3月31日(火)17時までに、書面をもって届け出れば、入学金以外の納入金を返還します。2026年3月31日(火)17時以降の申し出については一切返還しません。

※ 納入期限までに授業料等を納入されていない場合は、入学辞退者として取り扱うことになります。

※ 学費の一覧は43ページをご覧ください。



## 8. 教育・研究指導内容

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
看護学	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護技術および看護技術教育に関する研究</li> <li>フィジカルアセスメント教育・実践に関する研究</li> <li>形態機能学を活用した看護実践に関する研究</li> <li>健康長寿社会実現に向けた健康医療に関する研究</li> </ul>	安田 智洋 教授(Yasuda Tomohiro) 電話/ 053-439-1417 E-mail/ tomohiro-y@seirei.ac.jp  佐久間 佐織 教授(Sakuma Saori) 電話/ 053-439-1464 E-mail/ saori-s@seirei.ac.jp  炭谷 正太郎 准教授(Sumitani Shotaro) 電話/ 053-439-1472 E-mail/ syoutarou-s@seirei.ac.jp
	看護管理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護を取り巻く状況の変化に伴う看護業務や看護師・看護管理者の行動や考えの変化等</li> <li>地域包括ケアシステムを踏まえた、看護提供システムの在り方に関する研究</li> <li>保健医療福祉連携に関する研究</li> <li>看護師が行うリスクマネジメントに関する研究</li> <li>看護管理者のリーダーシップに関する研究</li> </ul>	樫原 理恵 教授(Kashihara Rie) 電話/ 053-439-1453 E-mail/ rie-k@seirei.ac.jp
	地域看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域保健医療福祉に関する研究</li> <li>保健活動に関する研究</li> <li>行政における保健活動方法に関する研究</li> <li>健康危機管理に関する研究</li> <li>発達障害支援に関する研究</li> <li>住民と行政が協働した地域づくりに関する研究</li> <li>配慮の必要な児童生徒への支援に関する研究</li> <li>学校保健に関する研究</li> </ul>	三輪 真知子 教授(Miwa Machiko) 電話/ 053-439-1624 E-mail/ machiko-m@seirei.ac.jp  西川 浩昭 教授(Nishikawa Hiroaki) 電話/ 053-439-1926 E-mail/ hiroaki-ni@seirei.ac.jp  池永 理恵子 教授(Ikenaga Rieko) 電話/ 053-439-1986 E-mail/ rieko-i@seirei.ac.jp  江口 晶子 教授(Eguchi Akiko) 電話/ 053-439-1410 E-mail/ akiko-e@seirei.ac.jp
	在宅看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅療養者のエンドオブライフケアに関する研究</li> <li>家族介護者への看護支援に関する研究</li> <li>訪問看護師の実践能力に関する研究</li> <li>多職種連携に関する研究</li> </ul>	酒井 昌子 教授(Sakai Masako) 電話/ 053-439-1898 E-mail/ masako-s@seirei.ac.jp  山村 江美子 教授(Yamamura Emiko) 電話/ 053-439-1959 E-mail/ emiko-y@seirei.ac.jp
	老年看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者の看護に関する研究</li> <li>一人暮らし認知症高齢者の健康支援に関する研究</li> <li>加齢性難聴の自覚とその対処に関する研究</li> <li>認知症高齢者の慢性便秘マネジメントに関する研究</li> </ul>	山田 紀代美 教授(Yamada Kiyomi) 電話/ 053-439-1432 E-mail/ kiyomi-y@seirei.ac.jp  木村 暢男 准教授(Kimura Nobuo) 電話/ 053-439-3192 E-mail/ nobuo-k@seirei.ac.jp  内藤 智義 准教授(Naito Tomoyoshi) 電話/ 053-439-1471 E-mail/ tomoyoshi-n@seirei.ac.jp
	精神看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護児童の養育者のメンタルヘルスと社会的支援に関する研究</li> <li>統合失調症をもつ人の語りを手がかりにした研究</li> <li>精神科看護師チームの機能支援に関する研究</li> <li>精神科看護師の感情体験に関する研究</li> </ul>	入江 拓 教授(Irie Taku) 電話/ 053-439-1486 E-mail/ taku-i@seirei.ac.jp  清水 隆裕 教授(Shimizu Takahiro) 電話/ 053-439-1459 E-mail/ takahiro-sh@seirei.ac.jp  小平 朋江 准教授(Kodaira Tomoe) 電話/ 053-439-1465 E-mail/ tomoe-k@seirei.ac.jp

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
看護学	慢性看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性疾患と共に生きる人々への看護に関する研究</li> <li>療養生活支援に関わる看護職の専門性・実践知に関する研究</li> </ul>	河口 てる子 教授(研究科長) (Kawaguchi Teruko) 電話/ 053-439-1437 E-mail/ teruko-k@seirei.ac.jp  和田 由樹 教授(Wada Yuki) 電話/ 053-439-1427 E-mail/ yuki-wd@seirei.ac.jp
	急性看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期にある患者の合併症予防や回復促進に関する研究</li> <li>術前・術中・術後の周術期における看護ケアに関する研究</li> <li>急性期看護における看護技術に関する研究</li> <li>救急場面にあるまたはクリティカルな状態にある患者および家族の看護に関する研究</li> </ul>	乾 友紀 准教授(Inui Yuki) 電話/ 053-439-1952 E-mail/ yuki-i@seirei.ac.jp
	がん看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんの症状マネジメント・緩和ケアに関する研究</li> <li>がん患者およびその家族の看護援助に関する研究</li> <li>がん患者のストレス・コーピングや倫理的課題に関する研究</li> <li>終末期がん患者へのシームレスなケア・看取りに関する研究</li> <li>各種がん治療の有害事象とそれに対するケアに関する研究</li> <li>予防から診断、治療、在宅療養、看取りなどすべてのがん療養プロセスにおける看護に関する研究</li> </ul>	大石 ふみ子 教授(Oishi Fumiko) 電話/ 053-439-1468 E-mail/ fumiko-o@seirei.ac.jp  藤浪 千種 教授(Fujinami Chigusa) 電話/ 053-439-1436 E-mail/ chigusa-f@seirei.ac.jp
	ウイメンズヘルス看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期および女性のライフサイクル全般にわたる健康課題に関する研究</li> <li>早産児や何らかの異常を持って生まれた新生児とその母親ならびに家族への看護援助に関する研究</li> <li>母乳育児に関する研究</li> </ul>	藤本 栄子 教授(Fujimoto Eiko) 電話/ 053-439-1967 E-mail/ eiko-f@seirei.ac.jp  熊澤 武志 教授(Kumazawa Takeshi) 電話/ 053-439-1974 E-mail/ takeshi-ku@seirei.ac.jp  室加 千佳 准教授(Muroka Chika) 電話/ 053-439-1483 E-mail/ chika-mu@seirei.ac.jp
	助産学	<ul style="list-style-type: none"> <li>低出生体重児の予防と母体の栄養・母児の体重に関する研究</li> <li>子ども虐待予防のための妊娠期からの家庭訪問活動に関する研究</li> <li>周産期の対象にある人々が安全・安心できる助産の技に関する研究</li> </ul>	久保田 君枝 教授(Kubota Kimie) 電話/ 053-439-1454 E-mail/ kimie-k@seirei.ac.jp
	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康障害をもつ小児と親・その家族へのケアに関する研究</li> <li>障害をもち成長・発達をする小児と親・その家族へのケアとサポートに関する研究</li> <li>小児看護の継続教育、管理に関する研究</li> </ul>	市江 和子 教授(Ichie Kazuko) 電話/ 053-439-1963 E-mail/ kazuko-i@seirei.ac.jp  宮谷 恵 教授(Miyatani Megumi) 電話/ 053-439-1964 E-mail/ megumi-m@seirei.ac.jp
	プライマリケア看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床判断、治療の管理、治療効果の判断に基づいた自律的な看護実践に関する研究</li> <li>対象者の意思決定を尊重するための医療提供及び看護実践に関する研究</li> </ul>	檜原 理恵 教授(Kashihara Rie) 電話/ 053-439-1453 E-mail/ rie-k@seirei.ac.jp  河口 てる子 教授(研究科長) (Kawaguchi Teruko) 電話/ 053-439-1437 E-mail/ teruko-k@seirei.ac.jp  佐久間 佐織 教授(Sakuma Saori) 電話/ 053-439-1464 E-mail/ saori-s@seirei.ac.jp  山村 江美子 教授(Yamamura Emiko) 電話/ 053-439-1959 E-mail/ emiko-y@seirei.ac.jp

□領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 河口てる子 教授

# 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	修士論文コース		高度実践看護コース				備考
		必修	選択	専門看護師プログラム		プライマリケアNPプログラム		
				必修	選択	必修	選択	
共通科目	キリスト教倫理特論		2		2		2	<修士論文コース> 必修 4 単位と選択科目から 6 単位以上、合計 10 単位以上を履修する。  <高度実践看護コース: 専門看護師プログラム> 基盤科目Aから 8 単位以上と基盤科目Bから 6 単位、合計 14 単位以上を履修する  <高度実践看護コース: プライマリケアNPプログラム> 基盤科目Aから 10 単位以上と基盤科目Cから 10 単位、合計 22 単位以上を履修する。
	保健医療倫理学特論		2		2		2	
	健康増進・医療経済政策特論		2		2		2	
	臨床疫学特論－EBM 実践入門－		2		2		2	
	実験的研究法		2		2		2	
	社会調査特論		2		2		2	
	人体構造・機能学特論		2		2		2	
	心理学特論		2		2		2	
	教育方法学特論		2		2		2	
	保健科学英語特論		2		2		2	
	マネジメント論		2		2		2	
教育工学特論		2		2		2		
基盤科目	A	看護理論	2		2		2	<高度実践看護コース: プライマリケアNPプログラム> 基盤科目Aから 10 単位以上と基盤科目Cから 10 単位、合計 22 単位以上を履修する。
		看護研究方法	2		2		2	
		看護倫理		2		2	2	
		看護管理論		2		2	2	
		看護政策論		2		2	2	
	看護コンサルテーション論		2		2	2		
	B	フィジカルアセスメント		2	2			
		病態生理学		2	2			
		臨床薬理学		2	2			
	C	臨床病態生理学・疾病概論					2	
		臨床推論					1	
		フィジカルアセスメント特論 I					1	
		フィジカルアセスメント特論 II					1	
		臨床薬理学特論 I					1	
		臨床薬理学特論 II					2	
医療安全・特定行為実践特論					1			
特定行為共通科目演習					1			
専門科目	看護学分野	<基礎看護学領域>						<修士論文コース> 専攻領域の看護学特論、演習を含め8 単位以上と専攻領域以外の専門科目 2 単位以上および特別研究を履修する。  <高度実践看護コース: 専門看護師プログラム> 専攻領域の専門科目から 24 単位以上を履修する。
		基礎看護学特論		2				
		看護教育特論		2				
		看護技術開発		2				
		基礎看護学特論演習		2				
		基礎看護学特論実習		2				
		基礎看護学特別研究		8				
	<看護管理学領域>							
	看護管理学特論		2					
	専門看護管理特論		2					
	看護管理学特論演習		2					
	看護管理学特論実習		2					
	看護管理学特別研究		8					
	<地域看護学領域>							
	地域看護学特論		2					
	地域看護学援助特論 I		2					
	地域看護学援助特論 II		2					
	地域看護学特論演習		2					
	地域看護学特論実習		2					
	学校看護特論		2					
	学校看護援助特論 I		2					
	学校看護援助特論 II		2					
	学校看護特論演習 I		2					
	学校看護特論演習 II		2					
学校看護特論実習		4						
地域看護学特別研究		8						

区分	授業科目	修士論文 コース		高度実践看護コース				備考
				専門看護師 プログラム		プライマリケア NPプログラム		
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	
専 門 科 目	看 護 学 分 野	<在宅看護学領域>						<高度実践看護コ ース:プライマリケ アNPプログラム> 専攻領域の専門科 目から 33 単位を 履修する。
		在宅看護学特論	2	2				
		在宅看護学援助特論Ⅰ	2	2				
		在宅看護学援助特論Ⅱ	2	2				
		在宅看護学援助特論Ⅲ	2	2				
		在宅看護学援助特論Ⅳ	2	2				
		在宅看護学特論演習	2					
		在宅看護学高度実践演習Ⅰ			2			
		在宅看護学高度実践演習Ⅱ			2			
		在宅看護学特論実習	2					
		在宅看護学高度実践実習Ⅰ			2			
		在宅看護学高度実践実習Ⅱ			3			
		在宅看護学高度実践実習Ⅲ			3			
		在宅看護学高度実践実習Ⅳ			2			
		在宅看護学特別研究	8					
		在宅看護学課題研究				2		
<老年看護学領域>								
老年看護学特論	2	2						
高齢者保健医療福祉政策論	2	2						
老年病態・検査・治療・管理論	2	2						
老年看護援助特論Ⅰ	2	2						
老年看護援助特論Ⅱ	2	2						
老年慢性看護論			2					
認知症高齢者看護特論			2					
老年看護学特論演習	2							
老年看護学特論実習	2							
老年看護学高度実践実習Ⅰ			6					
老年看護学高度実践実習Ⅱ			4					
老年看護学特別研究	8							
老年看護学課題研究				2				
<精神看護学領域>								
精神看護学特論	2							
地域精神保健活動特論	2							
精神看護学特論演習	2							
精神看護学特論実習	2							
精神看護学特別研究	8							
<慢性看護学領域>								
慢性看護学特論	2	2						
慢性看護学援助特論Ⅰ	2	2						
慢性看護学援助特論Ⅱ	2	2						
慢性看護学援助特論Ⅲ	2	2						
慢性看護学援助特論Ⅳ	2	2						
慢性看護学特論演習	2							
慢性看護学高度実践演習Ⅰ			2					
慢性看護学高度実践演習Ⅱ			2					
慢性看護学特論実習	2							
慢性看護学高度実践実習Ⅰ			2					
慢性看護学高度実践実習Ⅱ			4					
慢性看護学高度実践実習Ⅲ			4					
慢性看護学特別研究	8							
慢性看護学課題研究				2				

区分	授業科目	修士論文 コース		高度実践看護コース				備考
				専門看護師 プログラム		プライマリケア NPプログラム		
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	
専 門 科 目	看護学分野	<急性看護学領域>						
		急性看護学特論	2	2				
		急性看護学援助特論Ⅰ	2	2				
		急性看護学援助特論Ⅱ	2	2				
		急性フィジカルアセスメント	2	2				
		急性病態生理論	2	2				
		急性看護学特論演習Ⅰ	2					
		急性看護学特論演習Ⅱ			2			
		急性看護学援助特論演習			2			
		急性看護学特論実習	2					
		急性看護学高度実践実習Ⅰ			6			
		急性看護学高度実践実習Ⅱ			4			
		急性看護学特別研究	8					
	急性看護学課題研究				2			
	<がん看護学領域>							
	がん看護学特論	2	2					
	がん看護学援助特論	2	2					
	がん看護学病態特論	2	2					
	緩和ケア特論	2	2					
	緩和ケア援助特論	2	2					
がん看護学特論演習	2							
がん看護学演習Ⅰ			2					
がん看護学演習Ⅱ			2					
がん看護学特論実習	2							
がん看護学高度実践実習Ⅰ			2					
がん看護学高度実践実習Ⅱ			2					
がん看護学高度実践実習Ⅲ			6					
がん看護学特別研究	8							
がん看護学課題研究				2				
<ウィメンズヘルス看護学領域>								
ウィメンズヘルス看護学特論	2							
ウィメンズヘルスケア特論	2							
ハイリスク周産期ケア特論	2							
ウィメンズヘルス看護学特論演習	2							
ウィメンズヘルス看護学特論実習	2							
ウィメンズヘルス看護学特別研究	8							
<助産学領域>								
助産学特論	2							
助産学援助特論	2							
助産学特論演習	2							
助産学特論実習	2							
助産学特別研究	8							
<小児看護学領域>								
小児看護学特論Ⅰ	2	2						
小児看護学特論Ⅱ	2	2						
小児病態・治療論	2	2						
小児看護学援助特論Ⅰ	2	2						
小児看護学援助特論Ⅱ	2	2						
小児看護学援助特論Ⅲ	2	2						
小児看護学特論演習	2							
小児看護学演習Ⅰ			2					
小児看護学演習Ⅱ			2					
小児看護学特論実習	2							
小児看護学高度実践実習Ⅰ			2					
小児看護学高度実践実習Ⅱ			3					
小児看護学高度実践実習Ⅲ			5					
小児看護学特別研究	8							
小児看護学課題研究				2				

区分	授業科目	修士論文 コース		高度実践看護コース				備考
				専門看護師 プログラム		プライマリケア NPプログラム		
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	
専 門 科 目	看護学分野	<プライマリケア看護学領域>						
		プライマリケア看護学特論Ⅰ						2
		プライマリケア看護学特論Ⅱ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅰ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅱ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅲ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅳ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅴ						2
		プライマリケア看護学特論演習Ⅵ						2
		プライマリケア看護学実習Ⅰ						1
		プライマリケア看護学実習Ⅱ						6
		プライマリケア看護学実習Ⅲ						8
		プライマリケア看護学課題研究						2

注1) 専門科目は、1分野12領域から1領域を専攻する。

注2) 修了に必要な単位は修士論文コース32単位以上、高度実践看護コース 専門看護師プログラム38単位以上、  
プライマリケアNPプログラム55単位以上。

# ■看護学研究科 博士後期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
5名	博士(看護学)	3年 (長期在学コースは4年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)と外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する分野・領域

専門分野	領域
看護学	基礎看護学 看護管理学 地域看護学 老年看護学 精神看護学 慢性看護学 急性看護学 がん看護学 リプロダクティブ・ヘルス看護学 小児看護学

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者または入学時まで取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院が、入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで24歳に達した者

出願資格(5)の対象者は次のとおりです。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(5)(6)により出願しようとする場合は、出願前に入試・広報センター(TEL 053-439-1401)までお問い合わせください。

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- (1) 出願期間  
1期 2025年 8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]  
2期 2025年 12月15日(月)～2026年 1月5日(月)[消印有効]

### (2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先／〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

(3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘要
入学志願票	本学所定の様式（インターネット出願サイトより出力、片面印刷） 顔写真データを用意してください。（カラー／背景なし／正面・上半身・無帽／出願前3ヶ月以内に撮影したもの）
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
研究計画の概要 <b>様式⑤</b> 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	入学後、取り組みたい研究領域および課題について記述してください。
業績一覧 <b>様式⑥</b> および 主要論文の別刷または コピー	① 業績一覧は、本学所定の様式を使用し、次の内容を記入してください。 ア. 学会発表等(演題、学会名、場所、年月を明記する) イ. 論文等(題名、掲載誌名、巻・号数、頁数、年月を明記する) ウ. 著書(題名、担当頁、出版社名、発行年月を明記する) ② 主要論文の別刷(コピー可)を2～3編提出してください。
成績証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修了（見込）証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修士論文等の要旨 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	修士の学位を有する者は、修士論文の要旨を2,000字程度にまとめたもの(様式任意)を提出してください。

#### (4) 出願上の注意

①出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。

※ 各領域の担当教員の連絡先は17ページ「8. 教育・研究指導内容」を参照してください。

②証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）は、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。

③出願書類が不備なものは受け付けません。

④いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。

⑤出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

- (1) 選抜期日 1期 2025年9月27日(土)  
2期 2026年1月31日(土)

#### (2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目
一般選抜
① 英語の読解（辞書〔電子辞書含む〕持ち込み可）
② 面接 専門領域の知識、研究計画について

#### (3) 試験時間

試験時間	一般選抜
11:00～12:00	英語の読解
13:10～	面接

#### (4) 試験場

聖隷クリストファー大学(静岡県浜松市中央区三方原町3453)



## 5. 合格発表

- (1) 合格発表日 1期 2025年10月3日(金)  
2期 2026年2月6日(金)

### (2) 発表方法

- ①インターネット出願サイトにて行います。合否照会期間は合格発表から3日間です。  
②合格者にのみ、合格通知書および入学手続書類を郵送します(発表日に投函、速達郵便)。

## 6. 入学手続き

- (1) 手続期間 1期 2025年10月6日(月)～10月23日(木)  
2期 2026年2月9日(月)～2月26日(木)

### (2) 手続方法

手続期間内に入学金を納入し、誓約書を提出してください。

納入金および必要書類	
入学金 200,000円	誓約書(本学所定の様式)

※ 聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程修了者の入学金は免除になります。

※ 手続期間内に入学手続きを完了しない場合、入学辞退者として取り扱うことになります。

## 7. 授業料の納入

2026年度春semester授業料の納入期限は、2026年3月17日(火)17時です。

合格発表時に送付する納入書綴を使って期限までに納入してください。

	修業年限3年	修業年限4年(長期在学コース)
春semester授業料	366,500円	308,500円

※ 施設設備費は、授業料に含まれています。

※ 授業料を納入した方で入学を辞退する場合、2026年3月31日(火)17時までに、書面をもって届け出れば、入学金以外の納入金を返還します。2026年3月31日(火)17時以降の申し出については一切返還しません。

※ 納入期限までに授業料を納入していない場合は、入学辞退者として取り扱うことになります。

※ 学費の一覧は43ページをご覧ください。

## 8. 教育・研究指導内容

### ■看護学研究科[博士後期課程]

#### 指導教員(2025年度)

安田 智洋 教授(Yasuda Tomohiro)	053-439-1417	tomohiro-y@seirei.ac.jp
榎原 理恵 教授(Kashihara Rie)	053-439-1453	rie-k@seirei.ac.jp
三輪 真知子 教授(Miwa Machiko)	053-439-1624	machiko-m@seirei.ac.jp
酒井 昌子 教授(Sakai Masako)	053-439-1898	masako-s@seirei.ac.jp
西川 浩昭 教授(Nishikawa Hiroaki)	053-439-1926	hiroaki-ni@seirei.ac.jp
山田 紀代美 教授(Yamada Kiyomi)	053-439-1432	kiyomi-y@seirei.ac.jp
河口 てる子 教授(研究科長)(Kawaguchi Teruko)	053-439-1437	teruko-k@seirei.ac.jp
大石 ふみ子 教授(Oishi Fumiko)	053-439-1468	fumiko-o@seirei.ac.jp
藤浪 千種 教授(Fujinami Chigusa)	053-439-1436	chigusa-f@seirei.ac.jp
藤本 栄子 教授(Fujimoto Eiko)	053-439-1967	eiko-f@seirei.ac.jp
久保田 君枝 教授(Kubota Kimie)	053-439-1454	kimie-k@seirei.ac.jp
市江 和子 教授(Ichie Kazuko)	053-439-1963	kazuko-i@seirei.ac.jp
宮谷 恵 教授(Miyatani Megumi)	053-439-1964	megumi-m@seirei.ac.jp

#### 領域

分野	領域	教育・研究指導内容
看護学	基礎看護学	・看護技術および看護技術教育に関する研究 ・フィジカルアセスメント教育・実践に関する研究 ・形態機能学を活用した看護実践に関する研究 ・健康長寿社会実現に向けた健康医療に関する研究
	看護管理学	・地域包括ケアシステムを踏まえた、看護提供システムの在り方に関する研究 ・保健医療福祉連携に関する研究 ・看護師が行うリスクマネジメントに関する研究
	地域看護学	・在宅療養者および家族支援に関する研究 ・訪問看護実践及び実践能力に関する研究 ・行政における保健師の活動方法に関する研究 ・健康事象の評価法に関する研究 ・健康問題の多次的な要因の究明に関する研究
	老年看護学	・認知症高齢者の看護に関する研究 ・加齢性難聴の自覚とその対処に関する研究 ・就労高齢者の転倒事故防止に関する研究
	精神看護学	・精神科看護師チームの機能支援に関する研究 ・要保護児童の養育を担う養育者のメンタルヘルスと社会的支援に関する研究 ・統合失調症をもつ人の語りを手がかりにした研究
	慢性看護学	・慢性疾患を抱えて生活する人々への看護に関する研究 ・看護実践に関する概念の尺度開発研究 ・看護実践および看護教育でのアクションリサーチ研究 ・高度な看護実践に関する理論構築研究 ・特別なケアを必要とする人々を対象としたライフヒストリー・ライフコース研究
	急性看護学	・急性期にある患者の合併症予防や回復促進に関する研究 ・術前・術中・術後の周術期における看護ケアに関する研究 ・急性期看護における看護技術に関する研究 ・救急場面にあるまたはクリティカルな状態にある患者および家族の看護に関する研究
	がん看護学	・がんとがん治療における症状マネジメント・緩和ケアに関する研究 ・がん患者・家族の体験や看護介入に関する研究 ・かんと共生を支える援助や倫理的課題に関する研究 ・診断から終末期・死後に至るがん患者へのシームレスなケアに関する研究
	リプロダクティブ・ヘルス看護学	・産前期および女性のライフサイクル全般にわたる健康課題に関する研究 ・ハイリスク新生児とその母親ならびに家族への看護援助に関する研究 ・母乳育児に関する研究 ・低出生体重児の予防と母体の栄養・体組成に関する研究 ・健やかな子育て環境づくりのための、助産師と多職種との地域連携に関する研究 ・次世代に健全な子どもを産み育てるための胎児期からの助産学研究
	小児看護学	・健康障害をもつ小児と親・家族への看護援助と支援に関する研究 ・障害をもつ小児と親・家族への看護援助とサポートシステムに関する研究 ・小児看護の継続教育・看護管理に関する研究

□領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 河口 てる子 教授

## 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	必修	選択	備考
共通科目	インタープロフェッショナルワーク特講	2	1	必修を含む3科目5単位以上を履修する。
	インタープロフェッショナルワーク演習			
	リーダーシップ特講			
	保健科学研究方法特講Ⅰ			
	保健科学研究方法特講Ⅱ			
	保健科学英語特講			
専門科目	看護学分野	<基礎看護学領域>		各自が選択した研究領域の特講2単位、演習1単位および特別研究6単位、合計9単位以上を履修する。
		基礎看護学特講	2	
		基礎看護学特講演習	1	
		<看護管理学領域>		
		看護管理学特講	2	
		看護管理学特講演習	1	
		<地域看護学領域>		
		地域看護学特講	2	
		地域看護学特講演習	1	
		<老年看護学領域>		
		老年看護学特講	2	
		老年看護学特講演習	1	
		<精神看護学領域>		
		精神看護学特講	2	
精神看護学特講演習	1			
<慢性看護学領域>				
慢性看護学特講	2			
慢性看護学特講演習	1			
<急性看護学領域>				
急性看護学特講	2			
急性看護学特講演習	1			
<がん看護学領域>				
がん看護学特講	2			
がん看護学特講演習	1			
<リプロダクティブ・ヘルス看護学領域>				
リプロダクティブ・ヘルス看護学特講	2			
リプロダクティブ・ヘルス看護学特講演習	1			
<小児看護学領域>				
小児看護学特講	2			
小児看護学特講演習	1			
	看護学特別研究		6	

注)修了に必要な単位は14単位以上

# リハビリテーション科学研究科

---

## 博士前期課程

一般選抜(1期・2期)

社会人選抜(1期・2期)

## 博士後期課程

一般選抜(1期・2期)

# ■リハビリテーション科学研究科 博士前期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
15名	修士(リハビリテーション科学)	2年 (長期在学コースは3年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)、社会人選抜(1期・2期)、学内推薦選抜(1期・2期)、外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する専門分野・領域

専門分野	領域	
理学療法学	理学療法科学	理学療法開発学
作業療法学	作業療法科学	作業療法開発学
言語聴覚学	言語聴覚障害学	摂食嚥下障害学

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または入学時までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院が、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達したもの

※ 出願資格(9)により出願しようとする場合は、42ページの「博士前期課程出願資格(9)の認定について」を参照してください。なお、大学院科目等履修生等で過去に本大学院入学資格に該当する者と認定された方は「出願資格審査の結果通知の写し」の提出をもって審査を省略します。

※ リハビリテーション科学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①～③のすべてに該当する者

- ① 上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者
- ② 入学時点で3年以上の実務経験を有する者
- ③ 学術論文または学会発表において筆頭が一編以上ある者

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- (1) 出願期間 1期 2025年8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]  
2期 2025年12月15日(月)～2026年1月5日(月)[消印有効]

## (2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先／〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

## (3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘要
入学志願票	本学所定の様式(インターネット出願サイトより出力、片面印刷) 顔写真データを用意してください。(カラー/背景なし/正面・上半身・無帽/出願前3ヶ月以内に撮影したもの)
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
志望理由書 様式①	本学所定の様式を使用し、①領域の選択理由、②研究課題としての関心事、③研究課題に関心をもつ理由について書いてください。パソコン作成可ですが、氏名欄は必ずボールペンで自署してください。
成績証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。なお、大学以外の教育機関で専門教育(看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉)を受けた者は、当該校の成績証明書も提出してください。
卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。
業績調書 様式③	社会人選抜による出願者のみ、本学所定の様式を使用し、以下の書類を提出してください。 ① 業務内容の概要(400字程度にまとめる) ② 業績一覧 ※ ア.イ.については、抄録を1編以上添付してください。 ア. 学会発表等(演題名、学会名、場所、年月を明記する) イ. 論文等(題名、掲載誌名、巻・号数、頁数、年月を明記する) ウ. 著書(題名、担当頁、出版社名、発行年月を明記する)

## (4) 出願上の注意

①出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。

※各領域の担当教員の連絡先は23・24ページ「8.教育・研究指導内容」を参照してください。

②証明書の氏名が出願時と異なる場合(旧姓等は)、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。

③出願書類が不備なものは受け付けません。

④いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。

⑤出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

- (1) 選抜期日                   1期   2025年9月27日(土)  
                                      2期   2026年1月31日(土)

### (2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目	
一般選抜	社会人選抜
① 英語 保健医療関連の英文の読解 (辞書〔電子辞書含む〕持ち込み可)	① 英語 保健医療関連の英文の読解 (辞書〔電子辞書含む〕持ち込み可)
② 小論文 志望する領域に関する記述試験	② 面接
③ 面接	

### (3) 試験時間

試験時間	一般選抜	社会人選抜
9:30 ~ 10:30	英 語	英 語
11:00 ~ 12:00	小 論 文	面 接
13:10 ~	面 接	

### (4) 試験場

聖隷クリストファー大学(静岡県浜松市中央区三方原町3453)

## 5. 合格発表

- (1) 合格発表日 1期 2025年10月3日(金)  
2期 2026年2月6日(金)

### (2) 発表方法

- ①インターネット出願サイトにて行います。合否照会期間は合格発表から3日間です。  
②合格者にのみ、合格通知書および入学手続書類を郵送します(発表日に投函、速達郵便)。

## 6. 入学手続き

- (1) 手続期間 1期 2025年10月6日(月)~10月23日(木)  
2期 2026年2月9日(月)~2月26日(木)

### (2) 手続方法

手続期間内に入学金を納入し、誓約書を提出してください。

納入金および必要書類	
入学金 300,000円	誓約書(本学所定の様式)

※聖隷クリストファー大学(聖隷学園浜松衛生短期大学、聖隷介護福祉専門学校、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校含む)卒業者の入学金は150,000円です。

※手続期間内に入学手続きを完了しない場合、入学辞退者として取り扱うことになります。

## 7. 授業料の納入

2026年度春semester授業料の納入期限は、2026年3月17日(火)17時です。合格発表時に送付する納入書綴を使って期限までに納入してください。

	修業年限2年	修業年限3年(長期在学コース)
春semester授業料	475,000円	356,500円

※ 施設設備費は、授業料に含まれています。

※ 授業料を納入した方で入学を辞退する場合、2026年3月31日(火)17時までには、書面をもって届け出れば、入学金以外の納入金を返還します。2026年3月31日(火)17時以降の申し出については一切返還しません。

※ 納入期限までに授業料を納入していない場合は、入学辞退者として取り扱うことになります。

※ 学費の一覧は43ページをご覧ください。

## 8. 教育・研究指導内容

### ■リハビリテーション科学研究科[博士前期課程]

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
理学療法学	理学療法科学	・産業保健分野における健康増進と職業病予防に関する研究 ・動脈硬化関連疾患の発症予防に関する研究 ・健康増進や介護予防のデータ分析と活用に関する研究	矢倉 千昭 教授(Yagura Chiaki) 電話/ 053-439-1481 E-mail/ chiaki-y@seirei.ac.jp
		・痛みと呼吸困難の主観的評価と神経生理学的反応に関する研究 ・痛みに対する物理的刺激の効果と神経生理学的反応に関する研究 ・ペインリハビリテーションに関する研究	金原 一宏 教授(Kimpapa Kazuhiro) 電話/ 053-439-3232 E-mail/ kazuhiko-k@seirei.ac.jp
		・理解状況や教授方法のモデル化に関する研究 ・インストラクショナルデザインに関する研究 ・ICTを用いた学習環境の設計・実装及び評価に関する研究	津森 伸一 教授(Tsumori Shinichi) 電話/ 053-439-1899 E-mail/ shinichi-t@seirei.ac.jp
		・運動器疾患の評価や治療に関する研究 ・運動療法の効果や生体に及ぼす影響に関する研究 ・スポーツ外傷や障害に対する理学療法および予防に関する研究	根地嶋 誠 教授(Nejishima Makoto) 電話/ 053-439-3471 E-mail/ makoto-n@seirei.ac.jp
		・腎代替療法と保存期腎不全に対する腎臓リハビリテーション ・慢性期・生活期領域の内部障害リハビリテーション ・運動生理学を基盤とした生体の代謝反応の解析に関する研究	矢部 広樹 准教授(Yabe Hiroki) 電話/ 053-439-1438 E-mail/ hiroki-y@seirei.ac.jp
	理学療法開発学	・新生児・乳幼児の神経行動発達に関する研究 ・発達障がい児の発達支援とリハビリテーションに関する研究 ・理学療法士教育に関する研究	大城 昌平 教授(Ohgi Shohei) 電話/ 053-439-1401 (入試・広報センター) E-mail/ shohei-o@seirei.ac.jp
		・呼吸リハビリテーションと呼吸理学療法に関する研究 ・心臓リハビリテーションおよび心疾患の予防に関する研究 ・集中治療領域および周術期のリハビリテーションとケアに関する研究	有菌 信一 教授(Arizona Shinichi) 電話/ 053-439-3257 E-mail/ shinichi-a@seirei.ac.jp
		・高齢者や慢性疾患患者の介護予防に関する学際的研究 ・運動行動の変容に関する研究 ・高齢者の転倒・骨折予防を目的とした臨床・疫学研究	吉本 好延 教授(Yoshimoto Yoshinobu) 電話/ 053-439-1497 E-mail/ yoshinobu-y@seirei.ac.jp
		・呼吸リハビリテーションと呼吸理学療法の評価および治療に関する研究 ・呼吸器感染症に対するリハビリテーションおよび予防に関する研究 ・慢性呼吸器疾患に関する疫学的研究	俵 祐一 准教授(Tawara Yuichi) 電話/ 053-439-3392 E-mail/ yuichi-t@seirei.ac.jp
		・特別支援教育における作業療法支援等に関する研究 ・発達障害児・者の保護者支援に関する研究 ・地域における子育てシステムの構築に関する研究	伊藤 信寿 教授(Ito Nobuhisa) 電話/ 053-439-3481 E-mail/ nobuhisa-i@seirei.ac.jp
作業療法学	作業療法科学	・障害者の就労支援に関する研究 ・精神障害作業療法の地域支援に関する研究 ・メンタルヘルスに関する研究	藤田 さより 准教授(Fujita Sayori) 電話/ 053-439-3429 E-mail/ sayori-f@seirei.ac.jp
		・作業科学・作業療法理論に関する研究 ・作業遂行分析に関する研究 ・高齢期作業療法・人生経験に関する研究	鈴木 達也 准教授(Suzuki Tatsuya) 電話/053-439-3479 E-mail/tatsuya-s@seirei.ac.jp
		・精神障害者の作業体験に伴う精神・身体的感覚に関する研究 ・精神障害者の地域生活における自立支援・再発予防に関する研究 ・精神・認知・行動の障害に起因する社会的問題に関する研究	新宮 尚人 教授(Shingu Naohito) 電話/ 053-439-3194 E-mail/ naohito-s@seirei.ac.jp
	作業療法開発学	・身体障害領域における作業療法の効果に関する研究 ・リハビリテーション分野における健康関連QOLに関する研究 ・医療技術のアウトカムに関する研究	泉 良太 教授(Izumi Ryota) 電話/ 053-439-3492 E-mail/ ryota-i@seirei.ac.jp
		・回復期から生活期におけるリハビリテーションの効果検証 ・健康関連QOLの向上を目指した評価および介入法の検証 ・地域移行支援に関する多職種連携とその教育的支援の研究	佐野 哲也 准教授(Sano Tetsuya) 電話/ 053-439-1493 E-mail/ tetsuya-s@seirei.ac.jp



分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
言語聴覚学	言語聴覚障害学	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型発達児の語彙・統語・談話の発達研究</li> <li>言語発達障害児の語彙・統語・談話の発達と評価に関する研究</li> <li>発達障害児のナラティブと会話の研究</li> </ul>	小坂 美鶴 教授(Kosaka Mitsuru) 電話/ 053-439-1492 E-mail/ mitsuru-k@seirei.ac.jp
		<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅用失語症訓練アプリケーションソフトの開発(企業と共同)</li> <li>失語症の予後予測と改善要因に関する研究</li> <li>純粹型言語障害(純粹発語失行、純粹失読、失読失書など)の発生メカニズムと治療法に関する研究</li> <li>神経心理学的手法を基盤とした吃音の発生メカニズムの研究</li> <li>発達性吃音の進展と予防に関する研究</li> </ul>	谷 哲夫 教授(Tani Tetsuo) 電話/ 053-439-3474 E-mail/ tetsuo-t@seirei.ac.jp
		<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚障害児の聴力評価と聴覚補償に関する研究</li> <li>幼児・学童におけるナラティブ発達の機序の解明と指導法の開発</li> <li>インクルーシブ環境にある障害児のコミュニケーション支援に関する研究</li> </ul>	大原 重洋 教授(Ohara Shigehiro) 電話/ 053-439-3193 E-mail/ shigehiro-o@seirei.ac.jp
		<ul style="list-style-type: none"> <li>失語症者の言語機能、リハビリテーションに関する研究</li> <li>脳損傷者の認知、記憶、前頭葉機能に関する研究</li> <li>脳損傷者の言語・高次脳機能障害とメタ認知に関する研究</li> </ul>	黒崎 芳子 准教授(Kurosaki Yoshiko) 電話/ 053-439-1998 E-mail/ yoshiko-k@seirei.ac.jp
	摂食嚥下障害学	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食時や発声発語時の運動制御・神経制御機構に関する研究</li> <li>口腔運動の可視化に関する研究</li> <li>摂食嚥下訓練の効果判定及び訓練手技開発に関する研究</li> <li>窒息事故軽減に対する調査研究</li> </ul>	柴本 勇 教授(研究科長) (Shibamoto Isamu) 電話/ 053-439-1509 E-mail/ isamu-s@seirei.ac.jp
		<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食嚥下リハビリテーションの評価法および訓練法の開発に関する研究</li> <li>咀嚼・嚥下時の顎口腔顔面運動と筋活動動態に関する研究</li> <li>摂食嚥下障害の予防に関する研究</li> </ul>	佐藤 豊展 准教授(Sato Atsunobu) 電話/ 053-439-1908 E-mail/ atsunobu-s@seirei.ac.jp

分野・領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 柴本 勇 教授

## 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	必修	選択	備考		
共通科目	キリスト教倫理特論		2	① 6科目 12 単位以上選択		
	保健医療倫理学特論		2			
	健康増進・医療経済政策特論		2			
	臨床疫学特論－EBM 実践入門－		2			
	実験的研究法		2			
	社会調査特論		2			
	人体構造・機能学特論		2			
	心理学特論		2			
	教育方法学特論		2			
	保健科学英語特論		2			
	マネジメント論		2			
	教育工学特論		2			
基盤科目	リハビリテーション研究入門		2			
	内部障害リハビリテーション学		2			
	生活環境リハビリテーション学		2			
	嚥下障害リハビリテーション学		2			
	新生児リハビリテーション学		2			
	発達障害リハビリテーション学		2			
	疼痛科学リハビリテーション学		2			
	スポーツリハビリテーション学		2			
	インストラクショナルデザイン特論		2			
	リハビリテーション教育演習		2			
専門科目	理学療法学分野	<理学療法科学領域>		② 専攻領域の特論Ⅰ・Ⅱ4単位、演習2単位を履修する。		
		理学療法科学特論Ⅰ	2			
		理学療法科学特論Ⅱ	2			
		理学療法科学特論演習	2			
		<理学療法開発学領域>			③ 専攻領域以外の特論の中から2科目4単位以上及び専攻分野の特別研究若しくは課題研究を履修する又は高度実践科目12単位を履修する。	
		理学療法開発学特論Ⅰ	2			
	理学療法開発学特論Ⅱ	2				
	理学療法開発学特論演習	2				
	理学療法学特別研究	8				
	理学療法教育学課題研究	8				
	作業療法学分野	<作業療法科学領域>			③ 専攻領域以外の特論の中から2科目4単位以上及び専攻分野の特別研究若しくは課題研究を履修する又は高度実践科目12単位を履修する。	
		作業療法科学特論Ⅰ	2			
		作業療法科学特論Ⅱ	2			
		作業療法科学特論演習	2			
		<作業療法開発学領域>				③ 専攻領域以外の特論の中から2科目4単位以上及び専攻分野の特別研究若しくは課題研究を履修する又は高度実践科目12単位を履修する。
		作業療法開発学特論Ⅰ	2			
	作業療法開発学特論Ⅱ	2				
	作業療法開発学特論演習	2				
	作業療法学特別研究	8				
	作業療法教育学課題研究	8				
	言語聴覚学分野	<言語聴覚障害学領域>			③ 専攻領域以外の特論の中から2科目4単位以上及び専攻分野の特別研究若しくは課題研究を履修する又は高度実践科目12単位を履修する。	
		言語聴覚障害学特論Ⅰ	2			
		言語聴覚障害学特論Ⅱ	2			
		言語聴覚障害学特論演習	2			
<摂食嚥下障害学領域>		③ 専攻領域以外の特論の中から2科目4単位以上及び専攻分野の特別研究若しくは課題研究を履修する又は高度実践科目12単位を履修する。				
摂食嚥下障害学特論Ⅰ			2			
摂食嚥下障害学特論Ⅱ	2					
摂食嚥下障害学特論演習	2					
言語聴覚学特別研究	8					
言語聴覚教育学課題研究	8					
高度実践科目	高度実践リハビリテーション特論Ⅰ		2			
	高度実践リハビリテーション特論Ⅱ		2			
	高度実践リハビリテーション実習Ⅰ		2			
	高度実践リハビリテーション実習Ⅱ		2			
	高度実践リハビリテーション実習Ⅲ		2			
	高度実践リハビリテーション課題研究		2			

注)修了に必要な単位は30単位以上

# ■リハビリテーション科学研究科 博士後期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
5名	博士(リハビリテーション科学)	3年 (長期在学コースは4年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)、学内推薦選抜(1期・2期)、外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する分野・領域

専門分野	領域	
理学療法学	理学療法科学	理学療法開発学
作業療法学	作業療法科学	作業療法開発学
言語聴覚学	言語聴覚障害学	摂食嚥下障害学

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者または入学時まで取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時まで授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院が、入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで24歳に達した者

出願資格(5)の対象者は次のとおりです。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(5)(6)により出願しようとする場合は、出願前に入試・広報センター(TEL 053-439-1401)までお問い合わせください。

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- (1) 出願期間 1期 2025年8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]  
2期 2025年12月15日(月)～2026年1月5日(月)[消印有効]

## (2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先／〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

## (3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘要
入学志願票	本学所定の様式(インターネット出願サイトより出力、片面印刷) 顔写真データを用意してください。(カラー/背景なし/正面・上半身・無帽/出願前3ヶ月以内に撮影したもの)
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
研究計画の概要 様式⑤ 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	入学後、取り組みたい研究分野・領域および課題について記述してください。
業績一覧 様式⑥ および 主要論文の別刷またはコピー	① 業績一覧は、本学所定の様式を使用し、次の内容を記入してください。 ア. 学会発表等(演題、学会名、場所、年月を明記する) イ. 論文等(題名、掲載誌名、巻・号数、頁数、年月を明記する) ウ. 著書(題名、担当頁、出版社名、発行年月を明記する) ② 主要論文の別刷(コピー可)を2～3編提出してください。
成績証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修了(見込)証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修士論文等の要旨 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	修士の学位を有する者は、修士論文の要旨を2,000字程度にまとめたもの(様式任意)を提出してください。

## (4) 出願上の注意

①出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。

※ 各領域の担当教員の連絡先は29ページ「8.教育・研究指導内容」を参照してください。

②証明書の氏名が出願時と異なる場合(旧姓等)は、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。

③出願書類が不備なものは受け付けません。

④いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。

⑤出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

- (1) 選抜期日      1期      2025年9月27日(土)  
                         2期      2026年1月31日(土)

### (2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目
一般選抜
① 英語の読解 (辞書 [電子辞書含む]持ち込み可)
② 面接 専門領域の知識、研究計画について

### (3) 試験時間

試験時間	一般選抜
9:30 ~ 10:30	英語の読解
11:00 ~	面接

### (4) 試験場

聖隷クリストファー大学(静岡県浜松市中央区三方原町3453)

## 5. 合格発表

- (1) 合格発表日 1期 2025年10月3日(金)  
2期 2026年2月6日(金)

### (2) 発表方法

- ①インターネット出願サイトにて行います。合否照会期間は合格発表から3日間です。  
②合格者にのみ、合格通知書および入学手続書類を郵送します(発表日に投函、速達郵便)。

## 6. 入学手続き

- (1) 手続期間 1期 2025年10月6日(月)~10月23日(木)  
2期 2026年2月9日(月)~2月26日(木)

### (2) 手続方法

手続期間内に入学金を納入し、誓約書を提出してください。

納入金および必要書類	
入学金 200,000円	誓約書(本学所定の様式)

- ※ 聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程修了者の入学金は免除になります。  
※ 手続期間内に入学手続きを完了しない場合、入学辞退者として取り扱うことになります。

## 7. 授業料の納入

2026年度春semester授業料の納入期限は、2026年3月17日(火)17時です。  
合格発表時に送付する納入書綴を使って期限までに納入してください。

	修業年限3年	修業年限4年(長期在学コース)
春semester授業料	366,500円	308,500円

- ※ 施設設備費は、授業料に含まれています。  
※ 授業料を納入した方で入学を辞退する場合、2026年3月31日(火)17時までに、書面をもって届け出れば、入学金以外の納入金を返還します。2026年3月31日(火)17時以降の申し出については一切返還しません。  
※ 納入期限までに授業料を納入していない場合は、入学辞退者として取り扱うことになります。  
※ 学費の一覧は43ページをご覧ください。

## 8. 教育・研究指導内容

### ■リハビリテーション科学研究科[博士後期課程]

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
理学療法 学	理学療法 科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペインリハビリテーションに関する研究</li> <li>・産業保健分野における健康増進と職業病予防に関する研究</li> <li>・動脈硬化関連疾患の発症予防に関する研究</li> <li>・健康増進や介護予防のデータ分析と活用に関する研究</li> <li>・運動器疾患の評価や治療に関する研究</li> <li>・慢性腎不全患者や透析患者に対する腎臓リハビリテーションに関する研究</li> </ul>	矢倉 千昭 教授(Yagura Chiaki) 電話/ 053-439-1481 E-mail/ chiaki-y@seirei.ac.jp  金原 一宏 教授(Kimpara Kazuhiro) 電話/ 053-439-3232 E-mail/ kazuhiro-k@seirei.ac.jp  根地嶋 誠 教授(Nejishima Makoto) 電話/ 053-439-3471 E-mail/ makoto-n@seirei.ac.jp  矢部 広樹 准教授(Yabe Hiroki) 電話/ 053-439-1438 E-mail/ hiroki-y@seirei.ac.jp
	理学療法 開発学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児・乳幼児の神経行動発達に関する研究</li> <li>・発達障がい児の発達支援とリハビリテーションに関する研究</li> <li>・呼吸・循環・代謝能障害ならびに癌を中心とした内部障害に関する理学療法研究</li> <li>・高齢者・障害者の介護予防に関する研究</li> </ul>	大城 昌平 教授(Ohgi Shohei) 電話/ 053-439-1401(入試・広報センター) E-mail/ shohei-o@seirei.ac.jp  有菌 信一 教授(Arizono Shinichi) 電話/ 053-439-3257 E-mail/ shinichi-a@seirei.ac.jp  吉本 好延 教授(Yoshimoto Yoshinobu) 電話/ 053-439-1497 E-mail/ yoshinobu-y@seirei.ac.jp
作業療法 学	作業療法 科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校作業療法における実践と効果に関する研究</li> <li>・発達領域における地域支援に関する研究</li> <li>・支援が必要な子に対する作業療法に関する研究</li> </ul>	伊藤 信寿 教授(Ito Nobuhisa) 電話/ 053-439-3481 E-mail/ nobuhisa-i@seirei.ac.jp
	作業療法 開発学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の作業体験に伴う精神・身体的感覚に関する研究</li> <li>・精神・認知・行動の障害に起因する社会的問題に関する介入研究</li> <li>・身体障害領域における作業療法の効果に関する研究</li> <li>・リハビリテーション分野における健康関連QOLに関する研究</li> <li>・医療技術のアウトカムに関する研究</li> </ul>	新宮 尚人 教授(Shingu Naohito) 電話/ 053-439-3194 E-mail/ naohito-s@seirei.ac.jp  泉 良太 教授(Izumi Ryota) 電話/ 053-439-3492 E-mail/ ryota-i@seirei.ac.jp
言語聴覚 学	言語聴覚 障害学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定型発達児の語彙・統語・談話の発達研究</li> <li>・言語発達障害児の語彙・統語・談話の発達と評価に関する研究</li> <li>・発達障害児のナラティブと会話の研究</li> <li>・高次脳機能障害の診断およびリハビリテーションに関する研究</li> <li>・認知症の診断およびリハビリテーションに関する研究</li> <li>・失語症の予後予測と改善要因に関する研究</li> <li>・発達性吃音と神経原性吃音の比較研究</li> <li>・言語・読み書き発達と障害の早期発見と療法に関する研究</li> </ul>	小坂 美鶴 教授(Kosaka Mitsuru) 電話/ 053-439-1492 E-mail/ mitsuru-k@seirei.ac.jp
	摂食嚥下 障害学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食や発声発語時の運動制御・神経制御機構に関する研究</li> <li>・口腔運動の可視化に関する研究</li> <li>・摂食嚥下訓練の効果判定及び訓練手技開発に関する研究</li> <li>・ヒトの摂食における高次脳機能の役割とその病態及び介入に関する研究</li> <li>・発声発語障害と口腔制御に関する研究</li> <li>・窒息事故軽減に向けた調査研究</li> </ul>	柴本 勇 教授(研究科長) (Shibamoto Isamu) 電話/ 053-439-1509 E-mail/ isamu-s@seirei.ac.jp

□分野・領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 柴本 勇 教授

## 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	必修	選択	備考				
共通科目	インタープロフェSSIONALワーク特講	2	1	必修を含む3科目5単位以上を履修する。				
	インタープロフェSSIONALワーク演習							
	リーダーシップ特講				2			
	保健科学研究方法特講Ⅰ				2			
	保健科学研究方法特講Ⅱ				2			
	保健科学英語特講				2			
専門科目	<理学療法科学領域> 理学療法科学特講 理学療法科学特講演習		2 1	各自が選択した研究領域の特講2単位、演習1単位および特別研究6単位、合計9単位以上を履修する。				
					<理学療法開発学領域> 理学療法開発学特講 理学療法開発学特講演習	2 1		
							理学療法学特別研究	6
	<作業療法科学領域> 作業療法科学特講 作業療法科学特講演習	2 1						
			<作業療法開発学領域> 作業療法開発学特講 作業療法開発学特講演習		2 1			
						作業療法学特別研究	6	
	<言語聴覚障害学領域> 言語聴覚障害学特講 言語聴覚障害学特講演習					2 1		
			<摂食嚥下障害学領域> 摂食嚥下障害学特講 摂食嚥下障害学特講演習		2 1			
							言語聴覚学特別研究	6

注)修了に必要な単位は14単位以上

# 社会福祉学研究科

---

## 博士前期課程

一般選抜(1期・2期)

社会人選抜(1期・2期)

## 博士後期課程

一般選抜(1期・2期)

社会人選抜(1期・2期)



# ■ 社会福祉学研究科 博士前期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
10名	修士(社会福祉学)	2年 (長期在学コースは3年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)、社会人選抜(1期・2期)と外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する専門分野・領域

専門分野	領域
社会福祉学	社会福祉・ソーシャルワーク 介護福祉 子ども家庭福祉
心理学*	心理

\*心理学分野は、公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定める科目を設置しています。本大学院で単位修得し、公認心理師の国家試験受験資格を得るためには、大学において公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定める科目を修めて卒業していることが必要となります。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または入学時までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または入学時までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院が、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達したもの

※ 出願資格(9)により出願しようとする場合は、42ページの「博士前期課程出願資格(9)の認定について」を参照してください。なお、大学院科目等履修生等で過去に本大学院入学資格に該当する者と認定された方は「出願資格審査の結果通知の写し」の提出をもって審査を省略します。

※ 社会福祉学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①および②に該当する者

- ①上記の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当する者
- ②保健・医療・福祉・心理・教育等の実務、国際貢献活動やボランティア等の社会参加の経験を3年以上有する者

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- (1) 出願期間  
1期 2025年8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]  
2期 2025年12月15日(月)～2026年1月5日(月)[消印有効]

(2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先 / 〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

(3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘 要
入学志願票	本学所定の様式(インターネット出願サイトより出力、片面印刷) 顔写真データを用意してください。(カラー/背景なし/正面・上半身・無帽/出願前3ヶ月以内に撮影したもの)
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
志望理由書 様式①	本学所定の様式を使用し、①領域の選択理由、②研究課題としての関心事、③研究課題に関心をもつ理由について書いてください。パソコン作成可ですが、氏名欄は必ずボールペンで自署してください。
成績証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。なお、大学以外の教育機関で専門教育(看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉)を受けた者は、当該校の成績証明書も提出してください。
卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。出願前3ヶ月以内に作成されたもの。
職務(活動)経歴書 様式④	社会人選抜による出願者のみ、職務(活動)の主な内容について記入してください。また、職務(活動)の記録や証明書等があれば添付してください。

(4) 出願上の注意

①出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。

※各領域の担当教員の連絡先は35ページ「8.教育・研究指導内容」を参照してください。

②証明書の氏名が出願時と異なる場合(旧姓等)は、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。

③出願書類が不備なものは受け付けません。

④いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。

⑤出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

- (1) 選抜期日            1期   2025年9月27日(土)  
                              2期   2026年1月31日(土)

(2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目	
一般選抜	社会人選抜
① 英 語 社会福祉・心理関連領域の英文の読解 (辞書 [電子辞書含む]持ち込み可)	① 専門科目 社会福祉あるいは心理専門領域に関する記述試験 ② 面 接
② 専門科目 社会福祉あるいは心理専門領域に関する記述試験	
③ 面 接	



## 8. 教育・研究指導内容

### ■社会福祉学研究科[博士前期課程]

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
社会福祉学	社会福祉・ソーシャルワーク	・高齢者・障害者支援領域を主なフィールドとしたコミュニティソーシャルワークの研究 ・専門職連携・ソーシャルサポートネットワークの構築に関する研究 ・ソーシャルワークの実践土壌醸成の方略に関する研究	川向 雅弘 教授(研究科長) (Kawamukai Masahiro) 電話/ 053-439-3293 E-mail/ masahiro-k@seirei.ac.jp
		・地域福祉の主体・対象・方法に関する研究 ・住民参加による福祉活動の活性化とコミュニティワークについての研究 ・社会福祉法人の地域貢献の課題と実践についての研究	佐藤 順子 教授(Sato Junko) 電話/ 053-439-3179 E-mail/ junko-s@seirei.ac.jp
		・社会福祉専門職のスーパービジョン、人材育成に関する研究 ・社会福祉専門職の価値と倫理に関する研究 ・ソーシャルワークの実践構造に関する研究	福田 俊子 教授(Fukuda Toshiko) 電話/ 053-439-3184 E-mail/ toshiko-f@seirei.ac.jp
		・メンタルヘルスプライマリケア統合モデルの構築に関する研究 ・不登校やひきこもりを含む孤立する若者の心理・社会的背景を解明する疫学研究 ・スクールソーシャルワーカーの研修のあり方に関する研究 ・多職種連携による自殺対策のあり方に関する研究	大場 義貴 教授(Oba Yoshitaka) 電話/ 053-439-1401(入試・広報センター) E-mail/ yoshitaka-o@seirei.ac.jp
		・精神障がい者への権利擁護に関する研究 ・精神科病院における地域移行の研究 ・精神保健福祉士のソーシャルワーク実践についての研究	佐々木 正和 教授(Sasaki Masakazu) 電話/ 053-439-1458 E-mail/ masakazu-s@seirei.ac.jp
	介護福祉	・介護福祉士のキャリアパスに関する研究 ・介護福祉実践における階層別研修プログラムに関する研究 ・介護実践における移乗動作解析研究	野田 由佳里 教授(Noda Yukari) 電話/ 053-439-1925 E-mail/ yukari-n@seirei.ac.jp
		・介護福祉現場におけるハラスメントの研究 ・介護福祉実践における「観察」研究 ・介護福祉人材の社会人基礎力に関する研究	篠崎 良勝 准教授(shinozaki Yoshikatsu) 電話/ 053-439-3213 E-mail/ yoshikatsu-s@seirei.ac.jp
	子ども家庭福祉	・子ども虐待や子どもの貧困等の実態と対応に関する研究 ・子どもの権利擁護、子どもアドボカシーに関する研究 ・支援を必要とする子どもと家庭のための地域支援システムの研究	藤田 美枝子 教授(Fujita Mieko) 電話/ 053-439-3491 E-mail/ mieko-f@seirei.ac.jp
		・児童・家庭(育児)を取り巻く現状と課題 ・子どもの健全な育ち・発達課題について ・育児・保育における効果的な方法論	太田 雅子 教授(Ota Masako) 電話/ 053-439-3158 E-mail/ masako-o@seirei.ac.jp
		・母子生活支援施設に関する研究 ・養育に課題をかかえる保護者への支援に関する研究 ・子ども家庭福祉に従事するソーシャルワーカーの育成に関する研究	泉谷 朋子 准教授(Izumiyama Tomoko) 電話/ 053-439-3207 E-mail/ tomoko-iz@seirei.ac.jp
・心理アセスメントとフィードバックを心理治療の主要な軸として機能させるための要因探索に関する研究 ・神経発達症者の心理アセスメントや活動環境のユニバーサルデザインに関する研究 ・外国にルーツを持つ子どもの心理的・発達の困難性のアセスメントに関する研究		内山 敏 准教授(Uchiyama Satoshi)	

□領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 川向 雅弘 教授

### ※2026年度開設予定

心理学	心理	・神経発達症者の心理・発達アセスメントや活動環境のユニバーサルデザインに関する研究 ・外国にルーツを持つ幼児・児童・生徒・わかものの心理的・発達の困難性のアセスメントに関する研究	内山 敏 准教授(Uchiyama Satoshi)
-----	----	--	----------------------------

# 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	必修	選択	備考
共通科目	キリスト教倫理特論		2	① 必修6単位と共通科目、基盤科目から3科目6単位以上を履修する ② 専門科目から研究領域の特論Ⅰ・Ⅱ、特論演習、特別研究の4科目14単位を履修する。 ③ 他の領域の特論科目を履修することができる。
	保健医療倫理学特論		2	
	健康増進・医療経済政策特論		2	
	臨床疫学特論－EBM 実践入門－		2	
	実験的研究法		2	
	社会調査特論		2	
	人体構造・機能学特論		2	
	心理学特論		2	
	教育方法学特論		2	
	保健科学英語特論		2	
	マネジメント論		2	
	教育工学特論		2	
基盤科目	社会福祉原論	2		
	ソーシャルワーク論	2		
	福祉思想		2	
	社会福祉政策論		2	
	社会福祉実践研究	2		
	社会福祉実習		2	
専門科目	社会福祉学分野	<社会福祉・ソーシャルワーク領域>		
		社会福祉・ソーシャルワーク特論Ⅰ	2	
		社会福祉・ソーシャルワーク特論Ⅱ	2	
		社会福祉・ソーシャルワーク特論演習	2	
	<介護福祉領域>			
	介護福祉特論Ⅰ		2	
	介護福祉特論Ⅱ		2	
	介護福祉特論演習		2	
	<子ども家庭福祉領域>			
	子ども家庭福祉特論Ⅰ		2	
	子ども家庭福祉特論Ⅱ		2	
	子ども家庭福祉特論演習		2	
	社会福祉学特別研究			8

注)修了に必要な単位は30単位以上

# ■ 社会福祉学研究科 博士後期課程

## 1. 募集人員・募集専門分野

### (1) 募集人員等

募集人員	取得できる学位	標準修業年限
3名	博士(社会福祉学)	3年 (長期在学コースは4年)

※ 募集人員は、一般選抜(1期・2期)、社会人選抜(1期・2期)と外国人留学生選抜(1期・2期・3期)をあわせた人数です。

### (2) 募集する分野・領域

専門分野	領域
社会福祉学	社会福祉・ソーシャルワーク 高齢者福祉 子ども家庭福祉

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者または入学時までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者または入学時までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本大学院が、入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに24歳に達したもの

出願資格(5)の対象者は次のとおりです。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※ 出願資格(5)(6)により出願しようとする場合は、出願前に入試・広報センター(TEL 053-439-1401)までお問い合わせください。

※ 社会福祉学研究科「社会人選抜」に出願することができる者は、次の①および②に該当する者

- ① 上記の出願資格(1)～(6)のいずれかに該当する者
- ② 保健・医療・福祉・教育等の実務、国際貢献活動やボランティア等の社会参加の経験を3年以上有する者

## 3. 出願手続き・出願方法

インターネット出願サイトから出願手続きを行ってください。

ホームページ掲載の「インターネット出願ガイド」に沿って出願手続きを行ってください。

- |          |    |                                     |
|----------|----|-------------------------------------|
| (1) 出願期間 | 1期 | 2025年 8月18日(月)～9月1日(月)[消印有効]        |
|          | 2期 | 2025年 12月15日(月)～2026年 1月5日(月)[消印有効] |

(2) 出願方法

各自で用意した任意の封筒(角形2号サイズ)に、封筒貼付用宛名シートをはり付け、必要書類を封入して簡易書留郵便で次の宛先に郵送してください。

宛先/〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453 聖隷クリストファー大学 入試・広報センター

(3) 出願書類等 本学所定の様式はインターネット出願サイトまたは大学ホームページよりダウンロードしてください。

書類等	摘 要
入学志願票	本学所定の様式(インターネット出願サイトより出力、片面印刷) 顔写真データを用意してください。(カラー/背景なし/正面・上半身・無帽/出願前3ヶ月以内に撮影したもの)
入学検定料 30,000円	インターネット出願サイトで選択した支払い方法でお支払いください。 ※別途決済手数料がかかります。
研究計画の概要 様式⑤ 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	入学後、取り組みたい研究領域および課題について記述してください。
業績一覧 様式⑥ および 主要論文の別刷または コピー	① 業績一覧は、本学所定の様式を使用し、次の内容を記入してください。 ア. 学会発表等(演題、学会名、場所、年月を明記する) イ. 論文等(題名、掲載誌名、巻・号数、頁数、年月を明記する) ウ. 著書(題名、担当頁、出版社名、発行年月を明記する) ② 主要論文の別刷(コピー可)を2~3編提出してください。
成績証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修了(見込)証明書	出身大学の学長または大学院研究科長が作成したものを提出してください。
修士論文等の要旨 〔2,000字程度(A4用紙2枚)〕	修士の学位を有する者は、修士論文の要旨を2,000字程度にまとめたもの(様式任意)を提出してください。
職務(活動)経歴書 様式④	社会人選抜による出願者のみ、職務(活動)の主な内容について記入してください。 また、職務(活動)の記録や証明書等があれば添付してください。

(4) 出願上の注意

① 出願にあたっては、出願前に関心のある領域の担当教員に必ず連絡してください。

※ 各領域の担当教員の連絡先は40ページ「8.教育・研究指導内容」を参照してください。

② 証明書の氏名が出願時と異なる場合(旧姓等)は、戸籍抄本等、本人であることが確認できる証明書類を提出してください。

③ 出願書類が不備なものは受け付けません。

④ いったん提出された出願書類、入学検定料の返還は一切いたしません。

⑤ 出願に必要な書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

## 4. 選抜期日・選抜方法・試験科目等

受験票をインターネット出願サイトよりダウンロードし、A4サイズ・縦で印刷して当日持参してください。

(1) 選抜期日 1期 2025年9月27日(土)

2期 2026年1月31日(土)

(2) 選抜方法

入学者の選抜は以下の試験と提出書類を総合して行います。

試験科目	
一般選抜	社会人選抜
① 英語の読解 辞書〔電子辞書含む〕持ち込み可	① 専門科目 社会福祉専門領域に関する記述試験
② 面接 専門領域の知識、研究計画について	② 面接 専門領域の知識、研究計画について





## 8. 教育・研究指導内容

### ■社会福祉学研究科[博士後期課程]

分野	領域	教育・研究指導内容	担当教員(2025年度)
社会福祉学	社会福祉・ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉専門職の実践と理論に関する研究</li> <li>・社会福祉政策・ソーシャルワークの歴史と理論に関する研究</li> <li>・生活問題研究とソーシャルワークに関する研究</li> <li>・地域福祉の政策・主体・対象・方法に関する研究</li> <li>・メンタルヘルスマodelの構築と普及に関する研究</li> <li>・孤立する若者に関する研究</li> </ul>	川向 雅弘 教授(研究科長) (Kawamukai Masahiro) 電話/ 053-439-3293 E-mail/ masahiro-k@seirei.ac.jp  佐藤 順子 教授(Sato Junko) 電話/ 053-439-3179 E-mail/ junko-s@seirei.ac.jp  福田 俊子 教授(Fukuda Toshiko) 電話/ 053-439-3184 E-mail/ toshiko-f@seirei.ac.jp  大場 義貴 教授(Oba Yoshitaka) 電話/ 053-439-1401(入試・広報センター) E-mail/ yoshitaka-o@seirei.ac.jp  佐々木 正和 教授(Sasaki Masakazu) 電話/ 053-439-1458 E-mail/ masakazu-s@seirei.ac.jp
	高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉経営と管理職の育成に関する研究</li> <li>・介護保険制度とLIFE(科学的介護情報システム)に関する研究</li> <li>・外国人介護労働者に関する研究</li> <li>・要介護高齢者の在宅生活継続支援に関する研究</li> <li>・施設からの在宅復帰に関する研究</li> <li>・要介護高齢者の自立性回復に向けた研究</li> <li>・介護福祉人材の職場定着に関する研究</li> </ul>	野田 由佳里 教授(Noda Yukari) 電話/ 053-439-1925 E-mail/ yukari-n@seirei.ac.jp
	子ども家庭福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども虐待や子どもの貧困、ヤングケアラー等への支援における理論と実践に関する研究</li> <li>・子どもの権利擁護、子どもアドボカシーの理論と実践に関する研究</li> <li>・社会的養育における地域支援システムの理論と実践に関する研究</li> <li>・子どもの健全な育ちを支えるための保護者や保育者の「関わり」についての研究</li> <li>・育児・保育についての海外の実践に関する研究</li> </ul>	藤田 美枝子 教授(Fujita Mieko) 電話/ 053-439-3491 E-mail/ mieko-f@seirei.ac.jp  太田 雅子 教授(Ota Masako) 電話/ 053-439-3158 E-mail/ masako-o@seirei.ac.jp

□領域が未定の場合の問い合わせ 研究科長 川向 雅弘 教授

## 9. 教育課程

2025年度

区分	授業科目	必修	選択	備考
共通科目	インタープロフェッショナルワーク特講	2	1	必修を含む 3 科目 5 単位以上を履修する。
	インタープロフェッショナルワーク演習			
	リーダーシップ特講			
	保健科学研究方法特講 I			
	保健科学研究方法特講 II			
	保健科学英語特講			
専門科目	<社会福祉・ソーシャルワーク領域>		2	各自が選択した研究領域の特講を 2 単位、特講演習 1 単位および特別研究 6 単位の合計 9 単位以上を履修する。
	社会福祉・ソーシャルワーク特講			
	社会福祉・ソーシャルワーク特講演習			
	<高齢者福祉領域>			
	高齢者福祉特講			
	高齢者福祉特講演習			
	<子ども家庭福祉領域>			
	子ども家庭福祉特講			
子ども家庭福祉特講演習				
社会福祉学特別研究		6		

注)修了に必要な単位は14単位以上

共通

---

## 博士前期課程出願資格(9)の認定について

出願資格(9)により出願を希望される方は、下記の書類を提出し出願資格の認定を受けてください。

出願資格(9)の認定を受けようとする方は、必ず申請前に志望する領域の指導教員とE-mail、電話等で連絡を取り、学修、研究等について相談してください。

### (1) 提出書類

- ①入学試験出願資格認定申請書(本大学院所定の用紙)
- ②入学試験出願資格認定用履歴書(本大学院所定の用紙)
- ③卒業証明書(出身学校所定の用紙により発行者が厳封したもの)
- ④成績証明書(出身学校所定の用紙により発行者が厳封したもの)
- ⑤業績一覧(本大学院所定の用紙)
- ⑥学術論文、または学会・研究会発表抄録1編以上(施設内発表可)

※ ①、②、⑤の書類は、入試・広報センターにご請求いただくか、本学ホームページからダウンロードしてください。

(2) 提出期間 1期 2025年6月9日(月)～7月15日(火)[消印有効]

2期 2025年6月9日(月)～11月25日(火)[消印有効]

(3) 送付先 出願手続きの送付先と同じです。

### (4) 結果通知

審査結果は、おおむね提出1ヶ月後に申請者本人に通知します。出願資格「有」と認定された方は、本要項に定める出願書類(卒業証明書、成績証明書を除く)を取りそろえて出願してください。

## 大学院設置基準第14条の実施について

有職者の方が、休職あるいは一時退職することなく、在職したまま大学院教育を受けることができるように、大学院設置基準第14条の「教育方法の特例」に基づく、夜間、土曜日の教育を実施します。

授業は、有職者の方の出席可能な時間帯を考慮し、平日の夜間(18:20～19:50)および土曜日を中心に開講します。科目により、遠隔授業を行っているものもあります。また、研究指導に関しては、時間割の空き時間のほか、学生個々の状況に合わせて夏期・冬期・春期の長期休業期間中にも指導を行います。

## 長期在学コースについて

### 博士前期課程

職場環境、家庭環境によりさまざまな事情を抱える有職者の方が、個々の事情にあった履修計画を進める便宜を図るため、修業年限2年課程の履修上のコースとして、修業年限を3年とする長期在学コースを設けています。この制度により入学を希望される場合は出願時に申し出が必要です。また2年目の研究計画書提出状況により、長期在学コースから2年コースへの変更も可能です。

### 博士後期課程

職場環境、家庭環境によりさまざまな事情を抱える有職者の方が、個々の事情にあった履修計画を進める便宜を図るため、修業年限3年課程の履修上のコースとして、修業年限を4年とする長期在学コースを設けています。この制度により入学を希望される場合は出願時に申し出が必要です。

## 入学者選抜試験に係わる成績の開示について

2026年度入学者選抜試験における「個人成績」について、受験者本人からの申請に限り開示します。

開示を希望される方は、本学ホームページをご覧ください(2026年4月中旬頃掲載予定)。

## 学費一覧

### ■ 看護学研究科

	入学金	修業年限	授業料		
	入学手続時		春semester	秋semester	合計(年額)
博士前期課程	300,000円	2年	524,000円	524,000円	1,048,000円
		3年(長期在学コース)	394,000円	394,000円	788,000円
博士後期課程	200,000円	3年	366,500円	366,500円	733,000円
		4年(長期在学コース)	308,500円	308,500円	617,000円

### ■ リハビリテーション科学研究科

	入学金	修業年限	授業料		
	入学手続時		春semester	秋semester	合計(年額)
博士前期課程	300,000円	2年	475,000円	475,000円	950,000円
		3年(長期在学コース)	356,500円	356,500円	713,000円
博士後期課程	200,000円	3年	366,500円	366,500円	733,000円
		4年(長期在学コース)	308,500円	308,500円	617,000円

### ■ 社会福祉学研究科

	入学金	修業年限	授業料		
	入学手続時		春semester	秋semester	合計(年額)
博士前期課程	200,000円	2年	366,500円	366,500円	733,000円
		3年(長期在学コース)	275,000円	275,000円	550,000円
博士後期課程	200,000円	3年	366,500円	366,500円	733,000円
		4年(長期在学コース)	308,500円	308,500円	617,000円

※ 施設設備費は、授業料に含まれています。

※ 看護学研究科博士前期課程プライマリケアNPプログラムは、履修料(年額)250,000円(長期在学コースの場合は187,000円)が別途かかります。

※ 聖隷クリストファー大学(聖隷学園浜松衛生短期大学、聖隷介護福祉専門学校、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校含む)卒業者の博士前期課程の入学金は次のとおりです。

看護学研究科・リハビリテーション科学研究科 150,000円、社会福祉学研究科 100,000円

※ 聖隷クリストファー大学大学院博士前期課程修了者は、本学大学院博士後期課程の入学金が免除になります。

※ 次年度以降の学費は、諸事情により変更することがあります。

## 科目等履修生が修得した単位の認定および授業料の減免について

入学前に本学の科目等履修生として修得した単位は、正規学生として入学した後、既修得単位として認定しています。また、その単位修得に要した履修料を授業料から減免します。





# 聖隷クリストファー大学

SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY

- |看護学部 看護学科 |助産学専攻科
- |リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科
- |社会福祉学部 社会福祉学科(ソーシャルワークコース・介護福祉コース・福祉心理コース)
- |国際教育学部 こども教育学科
- |大学院 [博士前期課程][博士後期課程]  
看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科
- |聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
- |聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

---

お問い合わせは[入試・広報センター]へ

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453

TEL 053-439-1401

ホームページ <https://www.seirei.ac.jp>

